

朝日新聞

広告特集



建学に理解ある人々との出会い

周囲を田んぼに囲まれた小さな里山の小さな園舎。それができたばかりの明泉幼稚園でした。現在の明泉丸山幼稚園です。園児は71人。先生は5人。園舎は小さかったものの庭は広く、里山がまるごと幼稚園になつていくような環境に、当時の地域の人たちはとても驚いたそうです。実は、そんな地域の人たちとのたまたまの出会いが、この地に幼稚園を創るそもそものきっかけだつ

明泉50年に郷愁を求めて

2016年4月に記念すべき50年目を迎えた宮城明泉学園は、この喜びを地域と共に分かち合い、さらに理解を深め合うこと、次の50年への新たな土台を築こうとしています。

たのです。

終戦から約5年が経過した1950年、日本に聖書の言葉を伝えようとアメリカから渡ってきた人たちがいました。彼らは17年後、日本の子供に心の安らぎと豊かな教育を与えたいという思いから、わずかな資金を元手に幼稚園の創

立に乗り出します。不可能にも思える難事業でしたが「神様に不可能はない」と彼らは建学に向けて奔走しました。そんな当時を知る創立者のひとは、この丸山の地との出会いこそがまさに神様の祝福だったと振り返ります。偶然に出会った土地がたまたま建学に理解のある人たちの共有地で、その後もずっと有益な助言や心のこもった協力を得ることができたのです。創立者たちはツルハシやスコップで山を開墾し、井戸を掘り、石を運んで石垣を築きました。園舎には福島

けれども、地域の人たちにはひとつ心配なことがあります。それは、街中から遠く離れた、しかもタヌキやウサギが出るような山の上の幼稚園に、はたして園児が集まるのかということでした。当時の日本の感覚からすれば、もつともな考えだつたでしょう。しかし、アメリカでは既にスクールバスが一般化していました。そ

して登場したのが「チューリップバス」です。開園後、大勢の園児を乗せて走るチューリップ柄の大型バスは仙台の名物となりました。それはやっと手に入れた中古のバスで、しょっちゅう故障してはみんなで修理したそうです。そんな苦労話も、いまでは懐かしい思い出となっています。

名物「チューリップバス」の登場

地域に温かく迎えられ、幼稚園の建設は着実に進んでいきました。



創立時から取り組んだ早期英語教育

当時、市民の注目を集めながら走るチューリップバスの車内からは、子供たちの英語の歌声が聞かれました。明泉では開園当初から、子供たちの将来への贈り物として英語を教えていたのです。創立者たちの胸の中には、実感として、たとえ文化が異なっても言葉が通じれば心は通い合うという思いがあったのでしよう。実際に、かつて明泉創立者たちを迎えた元地権者も「アメリカ人はおつかない人たちだと思つてたけど、会つて話をしたら同じ人間だとわかつた」と当時を振り返り

ています。そんな地域の人たちとの心の交流が子供たちに英語を教えてあげたという創立者たちの気持ちの後押ししたのかも知れません。以降、明泉の早期英語教育は独自の進化を遂げ、いまや大勢の卒園生が海外の地や国際的な場で世界中の人々と心を通わせています。まったくの手探りから始まった、この半世紀の取り組みの大きな成果といえるでしょう。

50年間変わらない「まことの教育」

もちろん英語は心を通わせるための手段でしかありません。大切なのは、自身の心の有りようと、相手の心の受け止め方です。明泉幼稚園では開園以来、聖書に基づいた「まことの教育」をずっと大切にしてきました。神様を畏れ、他者を慈しみ、善悪のけじめを身につけた誠実な人格者へと子供たちを導く。この姿勢は、施設や

カリキュラムが見違えるほど発展し、園児が1200人まで増えた現在もまったく変わることなく生き続けています。そして、卒園生からは、「英語力や国際感覚もさることながら、道徳、礼儀、慈しみの心といった教えが人生の支えになった」という声が絶えず聞かれました。

地域に必要とされる存在を目指して

聖書すなわち神様の言葉に導かれてここまでやってきた宮城明泉学園ですが、その道程には、地域からの愛に支えられ、ときに子供たちから大切なことを教わりながら成長してきた歴史が刻まれています。明泉は、地域の人たちや代々の保護者、そして全卒園生が共に育てた一つの企業市民といえるでしょう。

この恩に報いるためにも、これからはより多くの人が「私たちの明泉」と誇れるような、また、より多くの人に「明泉があつてよかった」と喜ばれるような、そんな地域に根ざした存在を目指し、使命感をもつて努力していかねばならないと、明泉ではいま全教職員が気持ちを新たにしています。

明泉幼稚園の教育目標

まこと

善悪のけじめを明確にさせ、良心の発達を促す。

社会生活における望ましい姿を身につけさせ、正しく人とかかわる態度を育成する。

みどり

心と体の調和的成長を図り、健康な心身の基礎を養う。恵まれた自然の中で動植物との触れ合いを持たせ、情操を豊かに育む。

ことば

日本語の豊かさに触れさせ、高い知能と感性を培う。生きた英語に親しませ、外国の文化や言葉に対する興味や関心を養う。

写真：開園当初の園庭からの風景
田んぼの間を横切る道は、現在の北環状線と並走する細い道。右上の集落の向こうが泉中央付近。奥の方に見える丘が今の将監団地。



MeySen Academy

明泉

まいにち



子供は毎日の生活の中で
あらゆることを
ぐんぐん吸収しています。

まいにち 躍る

さあ、かけっこだ。
位置について、よいいドン。
先生速いな、負けないぞ。

まいにち 読む

面白いカタチの漢字だな。
どんな意味なんだろう。
読めたらきつと楽しいぞ。

まいにち 感じる

粘土に折り紙、色えんぴつ。
形も色も自由でいいんだ。
感じたままに何でも作れる。

まいにち 歌う

この歌は楽しい気持ち
びゅんびゅん跳ねてるようだ。
もっともっと歌いたい。

そんな
子供の「まいにち」を理解することで、
私たち大人はより価値のある贈り物を
彼らに与えることができます。
それも、毎日、毎日。

幼児期にしか見られない
驚くべき能力を見逃してはいけない
ポール・ブローマンSr. (学園創立者)



9/3 幼稚園説明会

明泉高森幼稚園 午前 10:00~11:20 (受付開始9:30)
明泉丸山幼稚園 午後 2:00~3:20 (受付開始1:30)

託児もあります 1歳半以上のお子様
ご利用のお子様は上履きをお持ちください

※ 託児受付は、上記説明会の受付開始と同時に終了です。
※ おむつを使用しているお子様のお預かりも可能ですが、おむつ交換はできませんのでご了承ください。
※ 長い間泣き止まない、安全管理上行き届かないなど、お子様の様子によっては会の途中で保護者の方にお迎えをお願いすることもありますので、予めご了承ください。
※ 来年度以降の入園予約状況につきましては、事務局までお問い合わせください。
※ 入園を考えているキャンパスで都合がつかない場合は別のキャンパスの説明会にご参加くださっても結構です。

www.meisen.ac.jp

オープンキャンパス(幼稚園見学) 9/1(木)~9/30(金) 午前9:30~午後1:00
※ 左記期間以外も見学可能です。事務局にお問い合わせください。
各園の事務室までお越しください。ご自由に見学していただけます。なお、月~金の午前11:00(9月20日(火)を除く)には担当者が園内をご案内いたします。

宮城明泉学園 概要ご案内

プログラム	対象
カンガルークラブ	2歳児とお母様
年少	3歳児
年中	4歳児
年長	5歳児
幼稚園 プレミアスクール	K4
	K5
卒園生	G1~G6
卒業生	G7~
	小学校 1~6年生
	中学1年~高校2年生
	フレンドクラブ卒業生
	プリミアスクールG6卒業生
	海外留学

デイケア(在園児向け預かり保育)

プログラム	時間
早朝のお預かり モーニングケア	7:00 ~ 8:30
午後のお預かり アフタヌーンクラス	14:45 ~ 19:00
一日のお預かり ディスクール	7:00 ~ 19:00 (土曜 7:30 ~ 16:00)

※ デイケアのお休み・日曜、祝日、お盆(5日)、年末年始(5日)、新年度準備(2日)
※ 行事の日など、幼稚園の振替休日にもお預かりします。

平成29年度 定員

明泉丸山幼稚園	明泉高森幼稚園	プリミアスクール
年少(3歳児) 208名	年少(3歳児) 204名	丸山キンダーガーデン
年中(4歳児) 175名	年中(4歳児) 175名	高森キンダーガーデン
年長(5歳児) 175名	年長(5歳児) 175名	K4(4歳児) 各32名
		K5(5歳児) 各32名

※ 来年度の入園予約者は、既に定員に達してしまっています。補欠登録、30年度以降の入園予約状況につきましては、事務局までお問い合わせください。

明泉バス送迎範囲

明泉丸山幼稚園
東: 八乙女・黒松・南光台方面
西: 中山台・北中山・国見ヶ丘方面
南: 宮町・上杉・大学病院方面
北: 泉中央一丁目・七北田・高玉方面

明泉高森幼稚園
東: 明石台・向陽台・将監方面
西: 望・住吉台・寺岡・紫山方面
南: 七北田 泉中央の一部
北: 泉区役所方面
北: 成田・白台・もみじヶ丘・社の丘・杜乃橋方面

給食選択制

- 毎日給食
- 毎日お弁当
- お弁当と給食併用

併用の場合、週の給食回数を選択できます。

英語と一緒に成長する



「英語ができる子」は、英語と一緒に成長することで「英語ができる大人」になります。
開園当初から早期英語教育に取り組んできた明泉では、
卒園後も継続して英語と親しめる環境を整えて「時代のバイリンガル」を育成しています。



「自分の子供にはぜひ英語をマスターさせたい」と考える親は大勢います。多くの親が、いずれは英語ができる大人として、日本人として、またはプロフェッショナルとして豊かな人生を歩んでほしいと願っていることでしょう。

「毎日」英語ができる子には、ひとりで「英語ができる大人」になるのでしょうか。例えば帰国子女の英語力の低下問題。特に小学校低学年で帰国した場合では、英語環境が継続されないと早い段階で英語を忘れてしまうことが知られています。ある子供のケースでは、帰国後しばらくして母親に「この前までは空を見てとblue」と思ったけど、いまは「青」と思うといわれています。

毎日ぐんぐん成長する子供は、言葉も毎日成長させていく



アメリカ旅行で現地の子供たちと

明泉の子供たち

明 泉の継続した英語環境と実践の機会によって拓かれる将来

開園当初から早期英語教育に取り組んできた宮城明泉学園では、ネイティブ教師と共に過ごしながら英語に親しむ環境や、旧来の文法ベースの教育法から脱却したまったく新しいカリキュラムの構築など、独自の手法とシステムをもって子供たちの英語教育に当たってきました。そしてもうひとつ、幼児期に出会った英語と卒園後も同じように触れ合える場を設けることで、思考や自我の土台がほぼ出来る上がる思春期まで子供たちが継続して、あるいは各成長過程において常に英語を学ぶことのできる環境を提供してきました。

明泉幼稚園を卒園した子供たちは、地域の小学校で学びながら「フレンドクラブ」や「明泉プリミアスクール」(4歳から12歳までの一貫教育)に通い、そのときどきの思考力や感受性にふさわしい英語力を段階的に身につけていきます。そんな英語と一緒に成長した彼らにとって、自分自身を試す絶好の機会となるのがアメリカ研修旅行です。日本の友達や家族と同じように交流できるという発見は、異文化交流の刺激や感動を超えて将来に大きく影響することになります。現在、明泉の卒園生は総勢2万人を数えるまでになりましたが、同窓生の中には国際的な舞台で活躍する人が少なくありません。彼らは、日本人としての確かなアイデンティティを持ちながら英語で自由にコミュニケーションできるバイリンガルとして、グローバル化が加速する現代に欠くことのできない人材となっているのです。まさに、英語と出合い、英語と一緒に成長したことで得られた人生といえるでしょう。



英語と継続的な関わりが持てる

フレンドクラブでは、卒園児を対象に幼稚園での英語学習を引き継ぎ、より一層その能力を高めるための授業を行っています。



お問い合わせ

学校法人 宮城明泉学園 www.meysen.ac.jp

明泉丸山幼稚園

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈4丁目1-1
TEL(022)372-3764(代) Fax(022)372-3962

明泉高森幼稚園

〒981-3203 仙台市泉区高森2丁目1-3
TEL(022)378-0221(代) Fax(022)378-9604

